



蒲小だより

未来を拓く児童の育成

9月1日, 2学期スタート!

文責 教頭 的場 秀騎
校長 山本 智文

42日間の長い長い夏休みが終わり、学校に子ども達の元気な声が戻ってきました。今年の夏休みも、暑い日が続きましたが、充実した夏休みを過ごすことができたでしょうか。これまで行けなかったところに行ったり、親戚や友人と再会したりして「**思い出に残る夏休み**」を過ごせたりしたのではないのでしょうか。しっかりとエネルギーを充電できたことでしょうか。さあ、長い2学期のスタートです!



今年度の子供たちに意識させたい言葉は「**表現力**」です。

昨年度は、「**相手意識**」でした。「相手を意識し、自分は何を考え、どう声をかけていくか? どう立ち振る舞ったらよいか?」等、子供たち自身で判断にうつすことのできる蒲小健児の育成をめざしました。特に、高学年の子供たちはよく意識していて、下級生の良きお手本になってくれました。「**打てば響く蒲刈小学校の子供たち**」だと感心していました。すてきな子供たちに囲まれて生活することのできた1年間でした。

さて、今年度は「**表現力**」です。

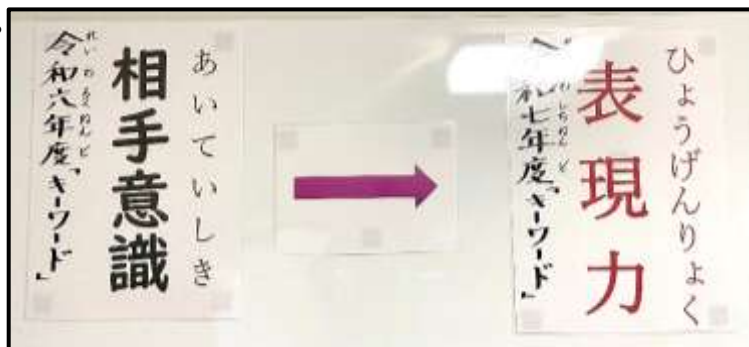
当然、昨年度に引き続き「**相手意識**」は意識させていきます。

今年度最初の全校朝会の場で、「**表現力とはなんぞや?**」と子供たちに問うたところ、皆が「ポカーン」としていました。そこで、私はすかさ

ず、「『蒲小健児』の課題は、校長として赴任した時から感じていたことなのですが、自分の考え(思い)を堂々と表現できない子供が多かったことです。“反応が返ってこない”“周りを意識して自ら語ろうとしない”等の姿があらこちらで観て取れました」と語りました。

「『**表現力**』とは、辞書には「**表現力とは、自分の思考や感情を相手に分かりやすく伝える能力**」と示してありました。一般的に、表現方法として「**言葉や文章**」,「**表情**」,「**ジェスチャー**」等があります。また、多くの方が認識している、「**音楽**」や「**絵画**」,「**演劇**」,「**ダンス**」等のように芸術的に表現することもあります。また、文部科学省が定めるカリキュラムの基準である「**学習指導要領**」では、「**表現力をはぐくむこと**」が組み込まれるほど、基本的なスキルの一つとなっています。

これから子供たちは、「**広い世界**」に飛び込んでいくようになります。いろいろな国の人とのコミュニケーション力が問われてきます。“大きくなれば表現力なんて自然につくもんだ”と安易に考えていると世界の流れから外れてしまいます。今のうちから「**表現力とはなんぞや?**」「**なぜ、表現力をつけていかなければならないのか**」等、小学生の発達段階を配慮しながらしっかりと意識づけていこうと考えています。(校長 山本)



「参加者やスタッフさん」とのかかわりや「野呂山の自然」とのふれ合いを通して

8月28日・29日に野呂山へ「**野外活動**」に行ってきました。出発時に蒲刈小の気温は32℃。野呂高原ロッジに到着した時には、26℃でした。薄曇りの中木陰に入り、心地よい環境の中での活動が始まりました。

最初の体験活動は、「**火おこし体験**」です。木と木の摩擦により種火をつくり、炎をつくりました。日常生活で何気なく見かけたり利用したりしている「火」について、その便利さや有用性を少しでも感じる事ができたと思います。

2つ目の体験活動は「**カレーづくり**」です。野呂高原ロッジのスタッフの方々に火起こし等の方法や留意点を教えてもらいながら、グループに分かれて活動しました。「自分たちで作ったカレー」と「ご飯」をおいしくいただきました。

午後からの「**カプラ(フランス生まれの木製積み木)**」では、想像力や集中力を発揮して個人でより高くカプラを積み重ねたり、全員の協調性を大切にして大きな「壁」を作り上げたりして、楽しみました。

ここまでの活動で、ともに「**作る・食べる・働く・考える**」体験を通して所属感や協調性が高まってきました。そして、夜のキャンプファイヤーでの「**歌う・遊ぶ・踊る・楽しむ**」体験は、参加者全員が互いを思いやり合い、支え合う豊かな関係性が育まれていく変化の姿を見ているよう気持ちになりました。

その豊かな関係性は、翌日の「**オリエンテーリング(ウォークラリー)**」に取り組む場面においても、お互いに声をかけ合ったり、歩きが遅くなった友達を待ったりする姿に表れていました。

今後、5・6年生が今年の野外活動について、ともに肯定的に振り返ることを繰り返すことで、よりよい思い出になっていくと思います。それとともに、いつまでも消えることのない「**学び**」として、記憶され燃え続けていくことでしょう。

今回の「**野外活動での生活**」を通して、5・6年生の優しさや頼もしさ、粘り強さ等、たくさんの「**よさ**」を発見することができました。心より感謝します。ありがとう。

また、この2日間で5・6年生自身が「**気付いたこと**」や「**発見したこと**」、「**お互いのよさ**」を活かして、2学期以降の活動に取り組んでいくことを心から期待しています。(教頭 的場)



七夕かざりつけ

今年度も「七夕のかざりつけ」を行いました。

私は、小学生の時、七夕のかざりつけが始まると「いよいよ夏休みだ！」と心がワクワクドキドキしたことを思い出します。ひと昔の子供たちが書く短冊の内容は、ほとんどが「〇〇のゲームが買えますように。」とか「〇〇ちゃん人形が買えますように。」という類のものがほとんどだったように記憶しています。

しかし、蒲刈小学校の子供たちの書く短冊は「蒲刈小学校のみんなが仲良く生活できますように。」とか「友達を大切にできる人になれますように。」といった内容のものを書く子がたくさんいました。すてきですね。自分のことはさて置き、友達や蒲刈小学校の繁栄に願いを込めて短冊を作成している…。何か、自分が情けなくなりました。今年度の全校児童は32名です。家族のようなものです。今は、熱中症対策で熱中症指数が31℃を超えると、運動場や体育館で思い切って遊ぶことができません。11月ごろから「全校遊び」を再開したいと思います。しっかりと遊び等を通して子供たち同士の絆を深めていきます。



青森県ゆかりの現代アート作品展のオープニングセレモニー参加

7月11日(金)に下蒲刈欄島美術館において「**青森県ゆかりの棟方志功や奈良美智たちの作品を紹介する特別展『青森の芸術家たち』**」のオープニングセレモニーが開催されるにあたり、蒲刈小学校の5・6年生が招待され、代表の児童2名が呉市長さんたちや呉市議会議員さんたちとテープカットを行いました。式は15分程度で終わりましたが、貴重な体験をすることができました。式終了後は、館内の美術作品をじっくりと時間をかけて見学することができました。

上の写真は、テープカットの様子を撮った写真で、下の写真は翌日の中国新聞朝刊号に掲載されたものです。

今年度も、本物に出会わせる経験をたくさん仕掛けてまいります。他校ではなかなかできない経験を蒲刈小学校の子供たちにさせてやりたいと考えています。ちなみに、今年度も下蒲刈町にある「**松濤園での『秋の茶会』**」に全校で参加します。11月8日(土)の午前中です。登校日とさせていただきますので、ご理解ください。よろしくお願い申し上げます。



「和太鼓」新曲に挑戦!

今年度から蒲刈小学校の和太鼓の演奏曲を「**祭り太鼓**」に変えて練習を繰り返し、子供たちに演奏を披露する機会を多く企画してやりたいと考えています。

以前、下蒲刈町三之瀬に住まわれていた中田保宏さんに特別非常勤講師として月に一度、指導に入らせていただいています。今年度は、5・6年生を対象に指導を受けることにしました。和太鼓のメリットは「**人数が少なくても迫力のある演奏ができる**」「**準備にあまり時間をとられない**」「**お金があまりかからない**」「**和の心を学ぶことができる**」「**型ができれば、地元の祭りにも貢献できる**」等、いろいろなメリットがあります。

私も、毎年、地元の子供たちに盆踊りの太鼓と踊りの指導、秋祭り太鼓の指導を行っています。小さいときに身に着けたものは、体が覚えていて大人になってもすぐに叩けるようになります。蒲刈小学校の子供たちには、是非とも「**ふるさとの伝統文化**」をまもりぬいてほしいと願ってやみません。※ちなみに、曲目は、蒲刈町・下蒲刈町に昔から伝わるものとはちがいますが、型の基本を習っておいてほしいと思っています。



「菅原オレンジ農園」校外学習

去る7月16日(水)の午前中、3・4年生が総合的な学習の時間の学びの一環として、下蒲刈町大地蔵にある「菅原オレンジ農園」を見学しました。菅原農園といえば、「山羊」の取材で県民によく知られていますが、今回は、諸事情により「**オレンジ農園**」を見学することとなりました。

オレンジ農園に到着すると、まずは、「**レモンの種類**」の説明を受けました。レモンの種類は何十種類もあることが分かり、子供たちは予想に反して皆びっくりしていました。蒲刈では「リスボン」や「ユーレカ」が多く栽培されていると思いますが(どちらも酸味が強い)、菅原農園では「甘いレモン」が栽培されていました。実際に試食させてもらいましたが、確かに甘かったです。「レモン=酸っぱい」という概念が見事にくずれさった瞬間でもありました。

その他、普通の柑橘栽培方法やレモンの栽培方法の違い等、教えてもいました。とてもすがすがしい天候、あっという間に時間が過ぎていきました。最後に、「菅原農園の入り口」の前で菅原さんを囲んで記念写真を撮りました。改めて思うことですが、「**本物に出会わせることの大切さ**」を実感した日となりました。ちなみに我が家の柑橘(レモンも含め)も順調に育っています。



